



Medical management support by astellas

DECEMBER 2024

医療機関の対応疾患や診療実績などが閲覧・検索できる 医療情報ネット「ナビイ」※

2024年4月より、国民や患者が医療機関を適切に選択できるよう、全国統一の医療情報提供システム「ナビイ」の運用が開始された。ナビイでは各医療機関の対応疾患や診療実績などを検索・閲覧することができ、患者だけでなく医療機関が地域連携に必要な情報を収集する際にも役立つ。今後は、かかりつけ医機能に関する機能追加も予定されている。



※医療情報ネット「ナビイ」(<https://www.iryoku.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize>)

2024年4月より運用開始された「ナビイ」 対応可能な疾患など医療機関情報の検索が可能に

医療機能情報提供制度は、国民や患者が医療機関を適切に選択できるように、医療機関に対して診療科目、診療日、診療時間、対応可能な治療内容など医療機能に関する情報を都道府県知事に報告することを義務付けています。これまでは都道府県単位で公表されていましたが、よりわかりやすい情報提供を実現するために、全国統一的なシステムが構築され、2024年4月より医療情報ネット「ナビイ」としてリニューアルされました。

ナビイでは、全国の病院・診療所・歯科診療所・助産所・

薬局を、都道府県を跨いで探すことができます。また、マイホーム登録による検索や地図形式での閲覧・検索も可能です。

さらに医療機関における対応可能な疾患や治療内容も、診療の領域ごとにわかりやすく表示されています。例えば、腎・泌尿器系の領域では、「腎・泌尿器系領域の一次診療」や「前立腺悪性腫瘍手術」などの項目があり、前年度の実施件数も確認できます(図表1-①)。さらに、MRIやマンモグラフィー、骨密度測定装置など、医療機関が保有する設備情報も確認可能です。

加えて、地域連携クリティカルパスの有無やその対象疾患についても確認できるため(図表1-②)、こうした情報は国民や患者による医療機関の選択に役立つだけで

■ 図表1 ナビイの表示例

①「対応可能な疾患・治療内容」について

対応可能な疾患・治療の内容	
◆腎・泌尿器系領域	
項目名	前年度実施件数
腎・泌尿器系領域の一次診療	-
前立腺悪性腫瘍手術	1~9件
◆リハビリ領域	
項目名	前年度実施件数
がん患者リハビリテーション	2050件
運動器リハビリテーション	12539件

消化器系や筋・骨格系及び外傷・リハビリなど様々な領域ごとに表記

実施している項目や件数により対象病院の医療機能の把握が可能

疾患別リハビリテーションの実施件数も確認ができる

②「地域連携クリティカルパスの有無」について

地域連携クリティカルパスの有無	
地域連携クリティカルパスの有無	有り
項目名	
地域連携クリティカルパスの対象(肺がん)	
地域連携クリティカルパスの対象(大腸がん)	
地域連携クリティカルパスの対象(胃がん)	
地域連携クリティカルパスの対象(大腿骨頸部)	

(医療情報ネット「ナビイ」による検索結果より抜粋・加工)

なく、医療機関が連携先を選定する際にも有効なツールとなり得ると考えられます。

かかりつけ医機能に対応した 新たな検索機能が追加予定

ナビイは、2025年4月から施行される「かかりつけ医機能報告制度」を踏まえた見直しが予定されています。これに関しては、かかりつけ医機能報告で報告される項目のうち、特に国民・患者の適切な医療機関の選択に資する項目については、医療機能情報提供制度の提供項目（つまりは、ナビイの情報提供項目）として位置づけられることが決まっています。

例えば、かかりつけ医機能報告では、「17診療領域ごとの一次診療の対応可能の有無」が報告事項として含まれる予定です。この対象となる診療領域や疾患は、患者調査による推計外来患者数が多い傷病を基に設定されており、関節リウマチ、糖尿病、がん、骨折、骨粗しょう症などが含まれる見込みです（図表2）。これらの情報はナビイにも反映され、国民や患者が必要な医療を受ける際の判断材料として活用できるようになります。

またナビイのトップページに「かかりつけ医機能で探す」ボタンを新設したり、医療機関ごとの概要情報ページに「かかりつけ医機能」の専用タブを追加することも検討されています。この改修により、かかりつけ医機能に基づいた検索が可能になるだけでなく、対象医療機関におけるかかりつけ医機能に関する情報をまとめて確認できるようになります。

これらの見直し内容は2024年度中に仕様を確定し、2025年度に向けて実装が進められる予定です。これにより、国民や患者が医療機関をよりスムーズに選択できるだけでなく、かかりつけ医機能を活用した地域医療の充実にも寄与することが期待されます。

上記設定は、患者調査による推計外来患者数が1.5万人以上の傷病、17診療領域で該当する傷病がない診療領域は最も推計外来患者数の多い傷病を抽出した上で、ICD-10中分類を参考に類似する傷病を統合。ただし、XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用、その他の大分類の疾患、歯科系疾患は除く。

〔第4回 医療機能情報提供制度・医療広告等に関する分科会 資料1「医療機能情報提供制度の報告項目の見直しについて」より抜粋・加工
(<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001292000.pdf>)

■ 図表2 一次診療に関する報告できる疾患案(40疾患)

傷病名	推計外来患者数(千人)	主な診療領域
高血圧	590.1	9. 循環器系
腰痛症	417.5	16. 筋・骨格系及び外傷
関節症(関節リウマチ、脱臼)	299.4	16. 筋・骨格系及び外傷
かぜ・感冒	230.3	6. 呼吸器、17. 小児
皮膚の疾患	221.6	1. 皮膚・形成外科、17. 小児
糖尿病	210	14. 内分泌・代謝・栄養
外傷	199.1	16. 筋・骨格系及び外傷、17. 小児
脂質異常症	153.4	14. 内分泌・代謝・栄養
下痢・胃腸炎	124.9	7. 消化器系
慢性腎臓病	124.5	10. 腎・泌尿器系
がん	109.2	-
喘息・COPD	105.5	6. 呼吸器、17. 小児
アレルギー性鼻炎	104.8	6. 呼吸器、17. 小児
うつ(気分障害、躁うつ病)	91.4	3. 精神科・神経科
骨折	86.6	16. 筋・骨格系及び外傷
結膜炎・角膜炎・涙腺炎	65	4. 眼
白内障	64.4	4. 眼
緑内障	64.2	4. 眼
骨粗しょう症	62.9	16. 筋・骨格系及び外傷
不安・ストレス(神経症)	62.5	3. 精神科・神経科
認知症	59.2	2. 神経・脳血管
脳梗塞	51	2. 神経・脳血管
統合失調症	50	3. 精神科・神経科
中耳炎・外耳炎	45.8	5. 耳鼻咽喉、17. 小児
睡眠障害	41.9	3. 精神科・神経科
不整脈	41	9. 循環器系
近視・遠視・老眼	39.1	4. 眼、17. 小児
前立腺肥大症	35.3	10. 腎・泌尿器系
狭心症	32.3	9. 循環器系
正常妊娠・産じよくの管理	27.9	11. 産科
心不全	24.8	9. 循環器系
便秘	24.2	7. 消化器系
頭痛(片頭痛)	19.9	2. 神経・脳血管
末梢神経障害	17.2	2. 神経・脳血管
難聴	17.1	5. 耳鼻咽喉
頸腕症候群	17	16. 筋・骨格系及び外傷
更年期障害	16.8	12. 婦人科
慢性肝炎(肝硬変、ウイルス性肝炎)	15.3	8. 肝・胆道・膵臓
貧血	12.3	15. 血液・免疫系
乳房の疾患	10.5	13. 乳腺